

指定管理者評価シート

事業名	さとらんど運営管理費	所管課(電話番号)	経済観光局農政部農政課(211-2406)
-----	------------	-----------	-----------------------

I 基本情報

1 施設の概要			
名称	札幌市農業体験交流施設 (さとらんど)	所在地	札幌市東区丘珠町584番地2
開設時期	平成7年(1995年)7月22日	延床面積	743,000m ² (管理面積569,000m ²)
目的	・農業に対する市民の知識及び理解を深める。 ・市民文化の向上及び農業の振興のため、憩いの場を提供する。 ・縄文文化への市民の関心を高める。		
事業概要	農業に関する体験実習の場の提供、緑とのふれあい、憩う場の提供等		
主要施設	・さとらんどセンター(農産・畜産加工室、視聴覚室、キッズコーナー、売店、レストラン他) ・さとらんど交流館(多目的ホール、調理室、会議室) ・市民農園 各種体験農場 ふれあい牧場		
2 指定管理者			
名称	さとらんどfanコンソーシアム(横浜植木株式会社北海道支店、JFEテクノス株式会社、株式会社アドワンファーム、株式会社Jファーム)		
指定期間	令和5年(2023年)4月1日から令和10年(2029年)3月31日		
募集方法	公募		
指定単位	施設数:1施設 複数施設を一括指定の場合、その理由:		
業務の範囲	施設・設備等の維持に関する業務、農業体験に関する業務、緑とのふれあい、憩うことのできる場を市民に提供する業務、農業者と消費者の交流の場を提供する業務、都市型農業を活性化させるための業務、農業に関する情報の収集・提供業務、農業に関する研修講習等の場の提供業務、使用承認等に関する業務、その他さとらんど設置目的を達成するため必要な業務		
3 評価単位	施設数:1施設 複数施設を一括評価の場合、その理由:		

Ⅱ 令和6年度管理業務等の検証

項 目	実施状況	指定管理者 の自己評価	所管局の評価
1 業務の要求水準達成度			
(1)統括管理業務	▽ 管理運営に係る基本方針の策定 私たちは、「農ある暮らしを未来へつなぐ」ことを管理運営の大方針といたしました。大方針実現のための5つの目標は、1市民の農的体験活動の推進 2市民と農業者の交流機会の創出 3農業者、関係機関、消費者の相互理解 4施設の魅力向上などによる市民サービスの向上 5徹底したコスト管理による経費の削減としております。 大方針実現のために、さとらんどfan運営委員会を設け、4社のほかに食科学・食育のプロフェッショナル荒川義人氏、農と食に関する産官学連携スペシャリスト李斉民氏などを迎え、助言を受けました。	方針に則り、適切な管理運営を行った。	A B C D さとらんどの設置目的及び基本的方向性を実現するための基本方針に基づき、良好な管理運営を行ったものと評価する。
	▽ 平等利用に係る方針等の策定と取組実績 私たちは、地方自治法第244条第2項、第3項を遵守し、正当な理由なくして拒まない、不当な差別的扱いはないとの方針で、全スタッフに対する教育を4月16日に行い運営を進めました。 具体的には ・平等利用に関する研修の実施 ・ペットの持ち込み、スケートボード走行に対する看板での注意喚や指導 ・受付に、コミュニケーションボードの設置 ・車いすの設置、貸出し ・HPへの障がい者への利用料金の割引のお知らせ ・「広報に関する色のガイドライン」に沿った印刷物の作成など	平等利用について、公平・公正な運営を行った。	さとらんどにおける平等利用を確保するための方針に基づき、各取組を実施することで公平・公正な運営を確保したものと評価する。
	▽ 地球温暖化対策及び環境配慮の推進 具体的な取組内容は ・再生紙の購入、両面コピーによる紙削減 ・環境配慮型製品の購入 ・冷房時は室温設定28℃ ・各室内の消灯 ・LED照明への転換 ・暖房時の室温設定は20℃ ・電動草刈り機の使用 ・太陽光を利用したロボット草刈り機の稼働 ・ドライブドクター搭載によるエコ運転の推進 ・芝草刈りなど植物残渣の堆肥化 ・糞尿敷き藁の堆肥化 ・剪定枝のチップ化と牧場への利用	環境配慮の取り組みを職員へ共有し、省エネに努めた。 中央監視装置にて細かな設定を行い、エネルギー抑制を行った。 センター側機械格納庫(全24灯)SL車庫(全22灯)交流館機械格納庫(全17灯)のLED照明への更新実施。 また、来園者へ節水などの働きかけを行い、ご協力頂いた。	各取組を行ったことでエネルギー使用量を必要最低限に留めよう努めたことを評価する。 特に、倉庫等の照明を全てLED照明に更新するなど、省エネ化に努めたことを高く評価する。
	▽ 管理運営組織の確立(責任者の配置、組織整備、従事者の確保・配置、人材育成)		
	▶責任者の配置 ・統括管理責任者1名及び代理2名を配置(それぞれ指定管理経験者、専門技術者などの要資格者) ▶組織整備 ・総務、企画、手づくり、農園、緑地維持、レク担当など11部門に分け、それぞれにリーダー、チーフを配置 ▶従業員の確保・配置 ・スタッフの採用は、求人募集を行い希望者を採用 ・緑地ガーデンの清掃作業を障がい者施設の利用者を採用	責任者、チーフ、リーダーを配置し、フォロー体制を構築し、サービスを提供した。 また、人材育成のため各種研修を実施した。初めての取組として閑散期に農業知識の向上のため、職員に農業豆知識講座を実施し、延べ120名の出席者となった。	施設の適切な管理運営のために必要な体制を構築し、安定したサービスの提供に努めたことを評価する。 なお、昨年度と比較して人材育成に力を入れており、積極的に職員の教育・研修を行うことでサービス・業務品質の向上に努めたことについても評価する。

▶人材育成 ・4月9日顧客満足度向上のための組織マネジメント研修実施 ・4月16日全職員向けに施設概要・マナー教育・防災訓練・救急対応・平等 利用・手づくり体験の研修を実施。一部職員に環境マネジメント・個人情報保護についての研修を実施。 ・4月23日サービスマネジメントによる品質改善と向上研修実施 ・必要に応じて各部門の現場でのOJTの実施 ・緑地維持関連の専門技術資格の取得 ・10月22日成果を上げる業務改善の研修 ・11月27日自衛消防訓練 ・11月30日応急手当講習の実施参加者学生17名職員3名 ・11月～12月毎週2回農業豆知識講座(外部講師2名、さとらんど講師2名)を実施 ・2月14日インターネットビジネス研修 ・2月18日企画力向上のための倫理的思考法の研修														
▽ 管理水準の維持向上に向けた取組 ・情報共有、情報伝達の方法の取り決め ・苦情処理簿の作成 ・応急手当講習、避難訓練の実施 ・アンケートの実施 ・定期的なスタッフミーティングの実施 ・PDCAサイクルを活用した取組 ・OJTの実施など ▽ 第三者に対する委託業務等の管理(業務の適正確保、受託者への適切監督、履行確認) ・建築、電気、機械などの設備点検は専門業者へ委託 ・出来高確認、履行確認の実施 ・チーフ、リーダーによる検査の実施 ・障害者団体への委託 ・再委託の指定管理側の責任者はマネージャー	毎日朝礼や毎週1回のミーティングにより情報を共有し、業務の進捗や来園者の安全利用について対応した。 仕様書に基づいて適切な業務遂行を行うとともに、委託にあたっては市内業者の積極的な活用や障がい者団体への委託に配慮して行った。	利用者サービス向上を目指し、管理水準の維持向上に努めたことを評価する。引き続き、問題が生じた場合の、札幌市への報告なども適時行うこと。 業務の適正確保、適正監督、履行確認を実施したものを評価する。市内業者の積極的な活用や障がい者団体への委託、委託業務従事者の適正給料の確認に努めたことを評価する。												
▽ 札幌市及び関係機関との連絡調整(運営協議会等の開催) <table><tr><th>開催回</th><th>協議・報告内容</th></tr><tr><td>第1回 4月17日</td><td>・メンバー紹介 ・前年冬期事業報告 ・イベント計画 ・設備保守点検</td></tr><tr><td>第2回 6月19日</td><td>・月次報告(入場者数、売り上げ) ・イベント実施報告、計画説明 ・家畜の健康状態 ・熱中症対策</td></tr><tr><td>第3回 8月28日</td><td>・月次報告(入場者数、売り上げ) ・照明器具修繕 ・スマート農業 ・さとのかけ橋の階段修繕</td></tr><tr><td>第4回 10月23日</td><td>・月次報告(入場者数、売り上げ) ・さとモエウオーク ・Wi-Fi契約内容確認 ・木製遊具修繕、売店改修は無し ・トライアルサウンディング</td></tr><tr><td>第5回 12月18日</td><td>・月次報告(入場者数、売り上げ) ・設備年次点検 ・イベント実施報告、計画説明 ・監査の状況 ・30周年記念イベント</td></tr></table>	開催回	協議・報告内容	第1回 4月17日	・メンバー紹介 ・前年冬期事業報告 ・イベント計画 ・設備保守点検	第2回 6月19日	・月次報告(入場者数、売り上げ) ・イベント実施報告、計画説明 ・家畜の健康状態 ・熱中症対策	第3回 8月28日	・月次報告(入場者数、売り上げ) ・照明器具修繕 ・スマート農業 ・さとのかけ橋の階段修繕	第4回 10月23日	・月次報告(入場者数、売り上げ) ・さとモエウオーク ・Wi-Fi契約内容確認 ・木製遊具修繕、売店改修は無し ・トライアルサウンディング	第5回 12月18日	・月次報告(入場者数、売り上げ) ・設備年次点検 ・イベント実施報告、計画説明 ・監査の状況 ・30周年記念イベント	管理水準の維持・向上のため、2ヶ月に1回運営協議会を実施した。その他、毎月札幌市へ管理業務の状況報告を行った。また、必要に応じて札幌市と打合せを実施し、管理水準の維持・向上に向けた取り組みを遅滞なく実施できた。	定期的に運営協議会を実施し、業務報告や連絡事項及び管理運営上の問題点などを協議し、業務の改善が行われていたことを評価する。また、管理運営水準の維持向上への取組を継続していることを評価する。
開催回	協議・報告内容													
第1回 4月17日	・メンバー紹介 ・前年冬期事業報告 ・イベント計画 ・設備保守点検													
第2回 6月19日	・月次報告(入場者数、売り上げ) ・イベント実施報告、計画説明 ・家畜の健康状態 ・熱中症対策													
第3回 8月28日	・月次報告(入場者数、売り上げ) ・照明器具修繕 ・スマート農業 ・さとのかけ橋の階段修繕													
第4回 10月23日	・月次報告(入場者数、売り上げ) ・さとモエウオーク ・Wi-Fi契約内容確認 ・木製遊具修繕、売店改修は無し ・トライアルサウンディング													
第5回 12月18日	・月次報告(入場者数、売り上げ) ・設備年次点検 ・イベント実施報告、計画説明 ・監査の状況 ・30周年記念イベント													

第6回 2月19日	・月次報告(入場者数、売り上げ) ・冬期イベント実施報告 ・漏水報告、屋根破損 ・組織変更		
＜協議会メンバー＞ 札幌市農政部農政課:高本課長、川畑係長、稲田係長、山田係員、内野係員 さとらんどfanコンソーシアム:喜多支店長、佐々木マネージャー、田中サブマネージャー、中島サブマネージャー、富樫サブマネージャー、関係各チーフ			
▽ 財務(資金管理、現金の適正管理) ▶資金管理 ・管理業務と自主事業の区分経理、預金口座 ・利用料金に対応した釣り銭準備 ▶現金の適正管理 ・現金取り扱い規定の遵守 ・内部定期検査の実施 ・通帳の厳重保管の実施		指定管理業務と自主事業の区分経理を実施した。 また、現金の適正管理は規制整備、内部定期検査を行い、管理取扱いを行った。	資金・現金の管理について、適正に行われていたことを評価する。
▽ 要望・苦情対応 ▶対応の具体的仕組み ・苦情処理対応表の作成 ・傾聴と状況の確認 ・改善内容の検討と実行 ・市への結果報告 ▶苦情内容 ・6月11日 パークゴルフ場の芝生が枯れている →利用開始時間前と終了後に水やりを行っているが、芝生の病気で薬剤を散布し改善に向け作業を行った。 ・7月7日 食品の賞味期限表記の誤り →製造店で誤って製造日を賞味期限日としていた。販売前に確認出来ていなかったため、品出し時に賞味期限日を確認することとした。 ・8月4日 農園で購入したとうもろこしが傷んでいた →購入の際にカフを剥いていただく事と検品作業の手順を再度確認した。 ・1月4日 レストランの料理提供時間が1時間以上だった →十分なスタッフの人員確保や作業の流れなど改善するよう指導した。		要望・苦情に対して問題に解決に迅速に対応し、札幌市へ報告した。	苦情・要望への対応、札幌市への報告について、適正に行われていたことを評価する。 苦情申出が発生しないよう、日々業務を適正に行うよう心がけること。
▽ 記録・モニタリング・報告・評価(記録、セルフモニタリングの実施、事業報告、札幌市の検査等への対応、自己評価の実施) ・運営管理業務の記録をスタッフ全員にて共有し、管理運営に活用 ・講座やイベントの満足度の測定を実施 満足度の目標値と集計結果 目標値はそれぞれ80% 集計結果(1560件) 総合満足度 92.6% 接遇に関する満足度 91.2% 各種体験・講座等に関する満足度 95.7% イベントに関する満足度 84.4% ・札幌市農政部による業務財務検査の実施		書類を適切に記録・保管した。各種アンケートにより、セルフモニタリングを実施した。 仕様書で定められた集計2000件に満たなかった。また、さとらんどfanコンソーシアムで掲げている目標値の90%については、イベントに関する項目のみ下回った。	適正に記録、報告が行われたほか、アンケート等のセルフモニタリングもイベントごとに随時積極的に実施したことを評価する。 講座やイベントの満足度測定について、仕様書で定められた集計2000件に届くように今後も継続して実施すること。

(2)労働関係法令遵守、雇用環境維持向上	▽ 労働関係法令遵守、雇用環境維持向上(事故の有無などの安全衛生面を含む) ・施設で働く職員に対し、最低賃金1,010円(令和6年10月1日発行)を上回る1,050円以上の時給を支給した。 ・施設で働く職員に対し、時間外労働・休日労働をさせた場合、それぞれ法定割合以上の割増賃金を支払った。 ・4月に就業規則の改正を行い、労働基準監督署に届け出た。 ・施設で働く職員に、時間外労働又は休日労働させる場合は、書面による労使協定(36協定)により必要な定めをし、労働基準監督署に届け出た。 ・全ての労働者を労災保険に、条件を満たす労働者を雇用保険に加入させた。 ・労働者の勤務形態、家族状況等に応じて年金保険、医療保険に適切に加入させた。また、必要に応じて適切に届け出等を行った。 ・1年に1回定期健康診断を実施した。 ・事故(労働災害)は1件ハチ刺されがあり、病院で処置を行った。ハチに刺された時の初期対応とハチの巣の搜索を行った。 ・委託業務受託者の責任者と密に連絡を取り、業務従事者の接遇や就業時間、休憩が守られているかパトロールを行った。 ・職場巡回を週1回実施し、施設の安全管理に努めた。 ・衛生委員会を月1回開催し、職員の労働環境の向上に努めた。また、産業医の職場巡視を2か月に1回実施し、安全衛生の向上に努めた。 ・ストレスチェックを実施し、職員の疲労度などを計測し、適正な勤務時間となるよう努めた。	労働関係法令を遵守し、必要書類の届出を適切に行った。 雇用環境の維持向上、健康維持・労働災害防止に努めた。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4">労働関係法令を遵守し、監督官庁への届出など適切に行われていることを評価する。 従業員に対しての各チェックなど、雇用環境維持向上に努めたことを評価する。</td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	労働関係法令を遵守し、監督官庁への届出など適切に行われていることを評価する。 従業員に対しての各チェックなど、雇用環境維持向上に努めたことを評価する。							
A	B	C	D												
労働関係法令を遵守し、監督官庁への届出など適切に行われていることを評価する。 従業員に対しての各チェックなど、雇用環境維持向上に努めたことを評価する。															
(3)施設・設備等の維持管理業務	▽ 総括的事項(利用者の安全確保、市民サービス向上への配慮、連絡体制確保、保険加入) ▶利用者の安全確保 ・衛生委員会による週1回の巡視、安全班による毎日の巡回・点検(遊具)、産業医による職場巡回により確保した。 ▶市民サービス向上への配慮 ・アンケート調査による気づきにより、改善点を洗い出し、施設の安全面や接遇などに配慮した。 ▶連絡体制確保 ・連絡体制図を掲示し、緊急時に24時間連絡できる体制を整えた。今年度からLINEによる連絡体制を整備した。また、夜間等は警備員が常駐しているため、安全面でも万全な体制を整えている。 ▶保険加入 ・仕様書で示された、第三者賠償保険のほか、イベント保険、什器の火災保険、冬レクの賠償保険に加入した。 ▽ 施設・設備等の維持管理(清掃、警備、保守点検、修繕、備品管理、駐車場管理、緑地管理等) ▶清掃 ・さとらんどセンター、交流館など仕様書に基づき毎日清掃を実施した。 ・ガラス清掃などは、定期清掃を実施した。 ・事業系一般廃棄物や産業廃棄物は、専門業者に依頼し実施した。 ▶警備 ・仕様書に基づき、夜間及び年末年始の常駐警備を実施した。 ▶保守点検 ・建築保全業務共通仕様書に基づく建物内外の点検、及び建築基準法12条点検を実施した。 ▶修繕 ・まきばの家窓ペア硝子修理 ・照明器具LED交換、給水管水漏れ修理、ドア鍵修理 ・消火器交換、電力計更新作業 ・屋上冷却塔配管漏水修理 ・家畜舎トイレ詰り配管修理 ・みのり橋漏水修理 ・第4駐車場ゲート修理	園内の巡視を行い、利用者の安全確保に努め、維持・管理を行った。監査の際に損害賠償責任保険の交差責任担保について未加入が判明したため、速やかに加入手続きを行ったことにより、年度の途中から約款の追加を行った。 施設・設備等の維持管理は仕様の水準を達成した。 利用者のレクリエーションの場、憩いの場となるよう園内の清掃・芝生等の管理に努め、良好な環境を維持した。 開設(平成7年)より三十年経過となり、施設や設備の老朽化に対し、安全確保に向けてこまめに点検し、修繕対応を迅速に行った。また数年先までの保全予防を含め、提案を行った。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4">市民サービスの向上につながるよう、管理体制の構築と維持に努めていることを評価する。 市民ニーズに応え、車イス貸出し場所を増やすなど、市民サービス向上に努めていた。 緊急対応や保険への加入など事故等発生時への備えが十分行われていることを評価する。</td> </tr> <tr> <td colspan="4">仕様書で規定する管理水準に基づいた管理を行っていた。 駐車場ゲートの修理や施設のLED化、緑地管理におけるロボット草刈機の導入など、適切な維持管理を達成するよう企画し、実施したことを評価する。</td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	市民サービスの向上につながるよう、管理体制の構築と維持に努めていることを評価する。 市民ニーズに応え、車イス貸出し場所を増やすなど、市民サービス向上に努めていた。 緊急対応や保険への加入など事故等発生時への備えが十分行われていることを評価する。				仕様書で規定する管理水準に基づいた管理を行っていた。 駐車場ゲートの修理や施設のLED化、緑地管理におけるロボット草刈機の導入など、適切な維持管理を達成するよう企画し、実施したことを評価する。			
A	B	C	D												
市民サービスの向上につながるよう、管理体制の構築と維持に努めていることを評価する。 市民ニーズに応え、車イス貸出し場所を増やすなど、市民サービス向上に努めていた。 緊急対応や保険への加入など事故等発生時への備えが十分行われていることを評価する。															
仕様書で規定する管理水準に基づいた管理を行っていた。 駐車場ゲートの修理や施設のLED化、緑地管理におけるロボット草刈機の導入など、適切な維持管理を達成するよう企画し、実施したことを評価する。															

	▶備品管理 ・市から示された備品台帳に基づき、各現場により備品の状態を確認した。使用不能のものについては、台帳から削除した。 ▶駐車場管理 ・施設内に7か所の駐車場があり、区画線不明のものについては、表示しなおした。 ・GWなど混雑が予想される場合は、警備員を配置して対応し、混乱を避けた。 ・冬期間は、3か所の開放にとどめ、進入の表示の工夫に努めた。 ▶緑地管理 ・さとらんどセンター正面の2か所の広場についてはロボット草刈り機を夜間稼働し、常に良好な芝生の状況の維持に努めた。 ・一部草刈り機を電動化し、騒音の軽減に努めた。 ・施設内主要か所に、花壇を設け、四季の演出を行った。 ・団体利用に配慮し、計画的に管理作業を進めた。 ・刈り草の堆肥化に努めた。 ・さとらんどガーデンの再整備に着手した。 ▶飼養動物管理 ・「動物の愛護及び管理に関する法律」ほかの規則に基づき、動物取扱業の登録を実施した。 ・家畜舎、厩舎など衛生的な環境の維持に努めた。 ・家畜などの予防接種など、獣医による定期診察を実施した。 ・エサやり体験が来園者に頗る好評であった。 ・飼育動物の糞尿、敷き藁は、堆肥化を行い、畑に利用した。 ▽ 防災 ▶防災訓練・安全講習 ・夏期営業前、冬期営業前にそれぞれ、避難訓練と消火訓練を実施した。 ・普通救命講習会を実施した。 ▶AEDの配備 ・さとらんどセンター、交流館、パークゴルフ受付の3か所に配備した。 ▶消防法への対応 ・センター、交流館ともに有資格者による消防点検を実施し、東消防署長へ届け出た。	備品を適切に管理し、結果を札幌市に報告した。 第6駐車場の区画線が所々剥離していたため、区画線の引き直しを実施した。 さとらんどガーデンの再整備を行い鑑賞、食に繋がるポタジェガーデンを開設した。 施設の衛生管理を計画的に行った。また、酪農学園大学と連携し、家畜の健康状態を適宜確認し、飼育を行った。 防災訓練・安全講習(4月、11月)普通救命講習会(11月)・救急連絡対応を行い、防災体制を強化した。消防法に対する消防点検の実施、報告を滞りなく実施した。	飼養動物管理について、適正に行われていたことを評価する。市民に喜ばれるよう工夫した飼養動物管理を行っていたことを評価する。 日頃から防災体制の確立に努めていたことを評価する。								
(4)事業の計画・実施業務	▽ 農業に関する体験学習機会の提供業務 ▶体験農園 ・収穫体験日数は、5月～11月で131日間(対前年度比94%)、参加人数は、合計43,241人(対前年度比104%)、体験料金は、7,949,090円(対前年比123%)だった。 ▶栽培収穫加工体験、収穫加工体験、栽培収穫体験 ・「うるち米コース」「サツマイモ」「ジャガイモ」「タマネギ」コースなど、7コースを4月下旬～10月中旬で実施した。 ▶学校教育等との連携業務(総合学習業務) ・農業体験は、42校が参加した。(令和5年度44校、対前年度比2校減)、参加人数は、2,322人だった。(令和5年度2,042人、対前年度比280人増) ・水田体験は、5校が参加した。(令和5年度7校、対前年度比2校減)、参加人数は、270人だった。(令和5年度517人、対前年度比247人減) ▶市民農園 ・4月から11月の期間、1区画50㎡を196区画、市民の利用に供した。 ・有効応募者数436件(対前年度比105.5%) ・有効倍率は、2.22倍であった。(対前年度比105.2%) ▶市民農園利用者サポート ・市民農園利用期間中に8回、現地での栽培講習会を実施した。	収穫体験は、仕様の水準に従い実施した。 栽培・収穫・加工体験業務を仕様の水準に従い、7コースで実施した。参加組数の定員は全てのコースで満員となった。 仕様書の水準を達成して適切な管理・運営を行うとともに、栽培指導等を充実させて利用者アンケートで高い評価を得た。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th><th>B</th><th>C</th><th>D</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> 適切な園場管理を行い、仕様の水準を満たした取り組みを行ったことを評価する。 体験講座の申込数が全コース満員であるなど、魅力ある体験講座を実施していることを評価する。 適切な管理・運営を行い、栽培指導など高いサービスを維持したことを評価する。	A	B	C	D				
A	B	C	D								

▶手づくり体験 ・60人まで入室できる農産加工室での団体受け入れ、主にソーセージ作り体験を実施した畜産加工室、30人まで入室できる料理実習室を使用し、通年実施のバター作り、ミニパフェ作り、夏期実施のアイスクリーム作り・ソーセージ作り、冬期実施のそば作り、みそづくり、こんにやくづくりを企画、実施した。 ・夏期と冬期、来園者の数により開催頻度や体験内容を変更しながら実施した。 ・さとらんど職員によるさとの講座は、食べ物の旬や季節感のあるビザづくり、肉まんづくり、親子で参加できる講座を実施した。 ▶貸室業務 ・受付時に一覧用紙に記入するやり方を共有ファイルで管理する方法に変更し、関係書類が閲覧できるように利便性を向上させた。 ・貸室使用申請書の記載不備や料金徴収の過不足金が発生したため、貸出し業務を行うスタッフへ12月に研修を実施した。 ・会議や昼食を除く貸室の利用や撮影で園内を利用する場合は利用者へ使用目的の確認(営利・非営利)を徹底するため、使用確認書を提出いただくこととした。 ▶その他 ・さとのプレーパークでは子ども農業体験クラブを新設し、収穫体験事業と異なったサービスを提供し、農業×食育×遊育を進めた。 ・冬季営業期間は平日レストランの営業がないため、お昼で帰る方が多かった。そこで来園者の滞在時間アップと利便性向上のため、売店の品揃えを強化し、11月～3月で売上415万円、冬期期間の前年比148.6%の進捗となった。 ▽緑とふれあい、憩うことのできる場の提供業務 ▶パークゴルフ場 ・3コース27ホールの運営を実施した。 ・ゴルフ大会を年4回実施した。 ・パークの日、スポーツの日は、無料開放を実施した。 ・子どもの日は、中学生以下無料。敬老の日は65才以上の方無料とした。 ▶SLバス ・ポテト号、オニオン号の2台体制で実施した。 ・通常30分ごとの運行のところ、土日祝、夏休み中は、15分間隔で運行した。 ▶引き馬 ・馬の健康に留意しながら、実施した。 ・1周5分程度の運行とした。 ▶馬車 ・午前3回、午後5回、1周30分で運行した。 ▶レンタサイクル ・2輪車1時間100円、4輪車1時間300円にて貸出した。 ▶炊事広場 ・利用時間は9時から16時、無料開放を実施した。 ・業務開始前に清掃を実施した。 ・場所取りなどの迷惑行為を注意した。	手づくり体験、講座参加者は19,838人。前年度比141%(5,739人増)と毎年体験内容を工夫し、増加している。 申請書の記載不備や料金の過不足が無いように研修を実施したが、次年度より使用申請書の様式を変更し、記入の誤りの防止とチェック体制を強化する。 仕様書に基づき適切な管理・運営を行い、前年と比較し馬車を除き、利用者数は増加した。	利用者ニーズを適切にとらえ、新講座の開講、開催日時を変更するなど、市民サービスの向上に努めたことを高く評価する。 また、さとのプレーパークで子ども農業体験クラブを新設し、新たなサービスを展開したこと、来園者の動向を注視し、滞在時間の改善のために売店の品揃えを強化するなどの工夫が見られたことや、貸室業務においても課題とそれに対する改善策を考え、早急に実行しており、業務改善に尽力したことを高く評価する。 仕様書に基づき適正な管理を行い、またパークの日、スポーツの日、こどもの日、敬老の日にパークゴルフ場使用料金を無料又は一部無料にするなどの市民サービス向上に努め、利用者数増となったことを評価する。
▽農業者と消費者の交流の場の提供 ▶ファーマーズマーケット事業 ・市内および連携中枢都市圏の農家中心に、対面販売の場所を設置した。(テント又は屋内) ・土日祝日を中心とした営業とし、出店料金1000円を徴収した。 ・会員募集を継続して行った。 ▶さとらんど市場 ・市内および連携中枢都市圏の農産物を中心に、地産地消の品ぞろえで、販売提供を実施した。 ・旬の野菜を取り揃えて販売した。ポップには野菜の名前や価格に加えて、産地や特長を記載し、お客様に提供した。 ・交流館入口には、連携中枢都市圏の各パンフレット配架	仕様書に従って事業を行った。近隣農家へ出店を募った。また、冬期はさとらんどセンターで販売を行った。 さとらんど市場では、旬の野菜の他、スーパーでは見かけない道産野菜を販売することでは見かけない道産野菜も販売し、差別化を図った。	仕様書に従い事業を実施したほか、さとらんど市場では、市内及び連携中枢都市圏の農産物を中心として、スーパーでは見かけない道産野菜を販売することで差別化を図り、地産地消を推進する取り組みを行ったことを評価する。

▽都市型農業を活性化させるための業務

- ▶バスツアー事業
- ・札幌市内近郊をめぐるバスツアーを実施した。
- ▶スマート農業の計画、情報収集
- ・農業用機器の導入に関する情報収集を行った。

バスツアーを実施し、2階テラスにてランチを提供した。
スマート農業の計画、農業用機器の情報収集を行い次年度に活用。

仕様書、計画書に従い事業を実施したことを評価する。

▽ 農業に関する情報収集及び提供業務

- ▶農業に関する情報収集提供
- ・農業関連雑誌や野菜についての絵本を2階レストランにて配架した。
- ・札幌黄物語などデジタルサイネージを活用し、情報提供した。
- ・ホームページを更新し、さとらんの今を一目でわかるように変更した。
- ・札幌保健医療大学などと連携し、食育の情報を提供した。

サイネージはセンターホール、交流館に配置しレクリエーションや農業についての情報を放送した。
ホームページはスマホを使う方をメインターゲットとして更新した。

ホームページのリニューアルを行い、利用者目線でのわかりやすい情報提供を行った。独自に札幌伝統野菜である札幌黄を紹介する動画を作成し、さとらんのデジタルサイネージで情報提供したことなど、積極的な農業啓発を行ったことを評価する。

▶農業振興イベントの開催

農畜産物への理解を深め、地産地消への認識・理解を促進するほか、市民に対し、魅力あるさとらんの認識を向上させるため、多くのイベントを開催した。
今年度は30回(主催16回、共催14回)の農業振興イベントを開催し、イベント入園者数は430,650人、前年度(518,330人)比約83%(87,680人減)となった。
・農産物の旬をとらえて、メロン、スイカ、タマネギ、カボチャ、新米など季節の野菜に合わせたイベントを開催した。
・サツラク、花市場、JA、サツドラなどとの連携したイベントも開催した。
・クリスマス、新年、ひなまつりなど、季節の行事に合わせたイベントも開催した。
・共催イベントを積極的に開催し、道内農業高校の生徒による活動報告を行うなど、農業振興に寄与する主催イベントとは異なる内容でのイベントを開催した。

農畜産物への理解を深め、「地産地消」への認識・理解を促進するほか、魅力あるさとらんの認知度向上のためのイベント事業を実施した。令和6年度は、30回(主催16回、共催14回)の農業振興イベントを開催した。

さとらんの設置目的である農業の振興への寄与を目指し、多角的な内容で非常に多くのイベントを企画し実施した。
多くのイベントを実施し、魅力あるさとらんというイメージの向上を図った点を評価する。

▶市民農業講座に係る企画運営

- ・さっぽろ農学校入門コース
- 家庭菜園や市民農園を楽しみたい方用の座学講座を開催した。(日曜日全18回、36講義)
- ・さっぽろ農学校専修コース、特別専修コース
- 専用園場を利用した、基礎的な農業を学ぶ講座専修コースの他就農や農業に強い関心がある方向けの特別専修コースを昨年に続き開講した。(専修全30回【土曜】、特専全57回【水曜・土曜】)
- ・栽培講習会
- モデル農園を活用した現地での栽培講習会を開催した。(全8回)

入門コースは70名、専修コースは24名(専修18名、特専6名)で講座を実施した。

仕様書に従い事業を実施し、魅力ある講義の開催に努めたことを評価する。

▶農体験リーダーの派遣

- ・専修コース卒業生など一定の農業知識のある方を農体験リーダーとし、市内の小学校に派遣し、野菜栽培の楽しさを伝えた。

派遣した学校・NPO法人は42箇所、派遣総回数は188回、参加総人数7,396人だった。

仕様書に従い、また学校等と調整を適切に行い、事業を実施した。また、経験豊かな相談員により充実した相談体制とし、栽培相談件数が増加したことを評価する。

▶園芸相談業務

- ・園芸専門員を常駐させ、電話などによる質問に答えた。
- ・土日祝は、市民農園を巡回し、利用者へアドバイスを行った。

栽培相談件数は5,447件(対前年度4,725件)で前年より722件増加した。

▽その他さとらんの設置目的を達成するために必要な業務

	▶農業支援センターで生産された農産物の売払い ・R5年度は売払いがあったが、R6年度は対象とする農産物が無かったため、売り払いは無し。 ▶冬期施設活用事業 ・冬期の利用客の増加のため、バナナポート、馬そり、エサやりなどを実施した。 ・観光関連補助事業を活用して、かまくらテラスを行い、集客に努めた。 ▶キッズコーナー ・幼児を対象に、木製のおもちゃを設置し遊んでいた。 ・一部おもちゃの新品に入れ替えや寄贈品をいただいた。	冬期事業はレクリエーションやトラクター遊覧車とスノーシューの貸出しに加え、スノーストライダーの貸出しを新たにを行った。	冬期事業は、自ら詳細な企画をし、観光関連補助を活用するなど、工夫して事業を展開したことを評価する。																											
(5)施設利用に関する業務	▽ 利用件数等 <table><tr><th colspan="2"></th><th>R5年度実績</th><th>R6年度計画</th><th>R6年度実績</th></tr><tr><td rowspan="2">さとらんどセンター</td><td>件数(件)</td><td>1003</td><td>900</td><td>1468</td></tr><tr><td>人数(人)</td><td>3528</td><td>1100</td><td>2561</td></tr><tr><td rowspan="2">さとらんど交流館</td><td>件数(件)</td><td>528</td><td>150</td><td>720</td></tr><tr><td>人数(人)</td><td>30</td><td>250</td><td>483</td></tr></table> ▽ 不承認0件、 取消し0件、 減免13件、 還付0件 ▽ 利用促進の取組 注1: 件数は、指定管理業務による利用を含む。人数は、貸室利用の人数である。(イベント等による利用について人数の計測が出来ない為) センター 前年比 利用件数 +465件 センター 前年比 利用人数 +967人 交流館 前年比 利用件数 +192件 交流館 前年比 利用人数 +453人			R5年度実績	R6年度計画	R6年度実績	さとらんどセンター	件数(件)	1003	900	1468	人数(人)	3528	1100	2561	さとらんど交流館	件数(件)	528	150	720	人数(人)	30	250	483	センターでの利用件数は減少、交流館は増加という結果となった。交流館の人数については少人数の会議や昼食場所としての利用数が多かった。	<table><tr><td>A</td><td>B</td><td>C</td><td>D</td></tr></table> 条例、規則、要領に基づき適正に業務を行ったものと評価する。	A	B	C	D
		R5年度実績	R6年度計画	R6年度実績																										
さとらんどセンター	件数(件)	1003	900	1468																										
	人数(人)	3528	1100	2561																										
さとらんど交流館	件数(件)	528	150	720																										
	人数(人)	30	250	483																										
A	B	C	D																											
(6)付随業務	▽ 広報業務 ・広報さっぽろ、ホームページ、旅行雑誌、各種新聞、テレビ、ラジオなど多くの情報媒体を通じて、施設の情報を発信した。 - さとらんどをPRするためにSNSの活用を継続し、Facebook、Instagram、LINEにて、園内情報を始め、各事業のお知らせや現況等を写真や動画で発信し、広報の充実に努めた。 ・ウェブアクセシビリティの取組 12月～3月にかけてホームページのリニューアルを行い、引き続きAAのレベルを維持した。 ▽ 引継ぎ業務 ・R5年度で前指定管理者との引継ぎは終了した。	各メディアへ積極的に働きかけを行ってテレビや新聞で数多く報道して頂いた。 広報の充実と情報発信の強化に努めた。 R6年度は引継ぎ業務は無かった。	<table><tr><td>A</td><td>B</td><td>C</td><td>D</td></tr></table> テレビ、新聞等のマスメディアのほか、子育て情報誌へ積極的に情報提供し、入園者数増となるよう努めたことを評価する。 また、さとらんど公式SNSを運営し、情報発信に努めたことや、ホームページのリニューアルでウェブアクセシビリティの向上に努めたことを評価する。	A	B	C	D																							
A	B	C	D																											
2 自主事業その他																														
▽ 自主事業	さとらんど利用者へのサービス向上のため、各種自主事業を実施しました。 ▶売店 ・ソフトクリーム、ぐんぐんのオリジナルグッズ、木育おもちゃ、軽食などの販売を行った。売上1,300万円でした。 ▶レストラン ・カレーのまちさっぽろ推進委員会との協働で設置します。地元農産物を使用したスープカレーなどを提供した。	売店については、昨年に比べ夏期の収益が減少。冬期間に商品見直し、軽食の販売を実施し、12～3月の収入が回復し、全体としては1,300万円の収入であった。(前年比96%)	<table><tr><td>A</td><td>B</td><td>C</td><td>D</td></tr></table> さとらんどを設置目的を踏まえ、事業を実施したことを評価する。 冬期間で商品見直しや軽食販売を実施し工夫することで、収益の回復に務めたことを評価する。	A	B	C	D																							
A	B	C	D																											

▶パークゴルフクラブ貸出 ・初心者や観光客のためクラブの貸し出しを行った。 ・売上96万円(前年度比128%)でした。 ▶飲料水自動販売機 ・給水ステーション、熱中対策として活用していただくため設置した。 ▶エサやり ・動物との触れ合いを目的として、ニンジンエサやりを行った。 ・売上453万円(前年度比143%)でした。 ▶仮設売店 ・炊事広場に隣接した売店で、食材、簡易焼き台などの販売を行った。業務委託として売上35万円でした。 ▶おもしろ自転車 ・雨水調整池の有効利用とレク充実のため、変形自転車各種の貸し出しを行った。業務委託として売上62万円でした。 ▶5インチ鉄道 ・レク充実のために、ミニ新幹線を行った。業務委託として売上10万円でした。 ▶クレーンゲーム ・レク充実のために、家畜や動物のぬいぐるみのUFOキャッチャーを設置した。売上37万円でした。 ▶カプセルトイレ ・レク充実のために、動物や北海道土産のガチャガチャを設置した。売上9万円でした。 ▽ 市内企業等の活用、福祉施策への配慮等 ・市の役務、物品購入などの登録者優先に、修繕、委託を実施した。 ・緑地の清掃などは、一部福祉施設へ委託した。また、売店従業員も依頼した。	クラブの貸出しは増えた。 センターに設置している給水ステーションは来園者に好評のため、継続し夏期に行っていたえさやりを冬期1～2月実施したこともあり、売上が増えた。 それぞれ業務委託として手数料収入とした。 市内企業の活用に積極的に取り組んだ。福祉団体へ業務の委託や印刷物の発注を行う等、福祉施策への配慮を心掛けた。	適切な配慮を念頭に事業展開を行ってきたものと評価する。														
3 利用者の満足度																
▽ 利用者アンケートの結果 <table><tr><td>実施方法</td><td>4～3月に実施。一般利用者、各種体験・講座参加者、イベント開催時の参加者等に向け、利用状況に応じてアンケートを実施した。アンケートの有効回答の総数は1,560通。</td></tr><tr><td>結果概要</td><td> ・総合満足度は、不満・少し不満と回答された方が0.7%、普通が6.7%、満足・とても満足が92.6%だった。満足・とても満足は目標値の2.6%を超える高い結果となった。 ・職員の接客に関するアンケートは、不満・あまり良くなかったが 0.4%、普通が8.5%、大変良かった・まあ良かったが91.2%で、目標値より1.2%高い結果となった。 ・各種体験、講座参加者の満足度は、不満・やや不満が0.7%、普通が3.6%、満足・やや満足が95.7%で目標値を5.7%上回る数値となった。 ・イベントの満足度は、やや不満が0.2%、普通が15.4%、満足・やや満足が84.4%で、目標値よりやや下回る結果となった。 </td></tr><tr><td>利用者からの意見・要望とその対応</td><td> 【要望】 収穫体験で使用するはさみやかごが汚れている。 【対応】 新しいものに順次入れ替え、使用後に洗浄を実施。 【要望】 クレジットやQR決済を導入してほしい。 【対応】 試験的に手づくり体験の支払いにQRコード決済を導入。 </td></tr></table>	実施方法	4～3月に実施。一般利用者、各種体験・講座参加者、イベント開催時の参加者等に向け、利用状況に応じてアンケートを実施した。アンケートの有効回答の総数は1,560通。	結果概要	・総合満足度は、不満・少し不満と回答された方が0.7%、普通が6.7%、満足・とても満足が92.6%だった。満足・とても満足は目標値の2.6%を超える高い結果となった。 ・職員の接客に関するアンケートは、不満・あまり良くなかったが 0.4%、普通が8.5%、大変良かった・まあ良かったが91.2%で、目標値より1.2%高い結果となった。 ・各種体験、講座参加者の満足度は、不満・やや不満が0.7%、普通が3.6%、満足・やや満足が95.7%で目標値を5.7%上回る数値となった。 ・イベントの満足度は、やや不満が0.2%、普通が15.4%、満足・やや満足が84.4%で、目標値よりやや下回る結果となった。	利用者からの意見・要望とその対応	【要望】 収穫体験で使用するはさみやかごが汚れている。 【対応】 新しいものに順次入れ替え、使用後に洗浄を実施。 【要望】 クレジットやQR決済を導入してほしい。 【対応】 試験的に手づくり体験の支払いにQRコード決済を導入。	各アンケート結果は、仕様書の要求水準の80%を超える満足度となった。 イベントの満足度のみ業務計画書で掲げた90%を超えることが出来なかった。 利用者からの要望と対応については、早急に対応可能なものは早急に設置した。 QR決済については、R7年度の夏期営業から実施箇所を増やす予定。	<table><tr><td>A</td><td>B</td><td>C</td><td>D</td></tr><tr><td colspan="4"> 各事業ごとに詳細にアンケートを実施し、利用者意見の分析及び事業の改善に活用し、総合満足度が80%を上回ったことを評価する。各事業で工夫を凝らして市民サービスの向上に努めた結果により、指定管理者としての目標値90%をイベント事業以外では、達成したことを評価する。 利用者要望を受けて、業務改善を実施していることを評価する。QR決済の導入を翌年度から行えるよう試験を行うなど、工夫が見られる点を評価する。 </td></tr></table>	A	B	C	D	各事業ごとに詳細にアンケートを実施し、利用者意見の分析及び事業の改善に活用し、総合満足度が80%を上回ったことを評価する。各事業で工夫を凝らして市民サービスの向上に努めた結果により、指定管理者としての目標値90%をイベント事業以外では、達成したことを評価する。 利用者要望を受けて、業務改善を実施していることを評価する。QR決済の導入を翌年度から行えるよう試験を行うなど、工夫が見られる点を評価する。			
実施方法	4～3月に実施。一般利用者、各種体験・講座参加者、イベント開催時の参加者等に向け、利用状況に応じてアンケートを実施した。アンケートの有効回答の総数は1,560通。															
結果概要	・総合満足度は、不満・少し不満と回答された方が0.7%、普通が6.7%、満足・とても満足が92.6%だった。満足・とても満足は目標値の2.6%を超える高い結果となった。 ・職員の接客に関するアンケートは、不満・あまり良くなかったが 0.4%、普通が8.5%、大変良かった・まあ良かったが91.2%で、目標値より1.2%高い結果となった。 ・各種体験、講座参加者の満足度は、不満・やや不満が0.7%、普通が3.6%、満足・やや満足が95.7%で目標値を5.7%上回る数値となった。 ・イベントの満足度は、やや不満が0.2%、普通が15.4%、満足・やや満足が84.4%で、目標値よりやや下回る結果となった。															
利用者からの意見・要望とその対応	【要望】 収穫体験で使用するはさみやかごが汚れている。 【対応】 新しいものに順次入れ替え、使用後に洗浄を実施。 【要望】 クレジットやQR決済を導入してほしい。 【対応】 試験的に手づくり体験の支払いにQRコード決済を導入。															
A	B	C	D													
各事業ごとに詳細にアンケートを実施し、利用者意見の分析及び事業の改善に活用し、総合満足度が80%を上回ったことを評価する。各事業で工夫を凝らして市民サービスの向上に努めた結果により、指定管理者としての目標値90%をイベント事業以外では、達成したことを評価する。 利用者要望を受けて、業務改善を実施していることを評価する。QR決済の導入を翌年度から行えるよう試験を行うなど、工夫が見られる点を評価する。																

4 収支状況

▽ 収支

(千円)

項目	R6年度計画	R6年度決算	差(決算-計画)
収入	287,000	344,912	57,912
指定管理業務収入	280,220	321,058	40,838
指定管理費	238,000	246,410	8,410
利用料金	13,200	22,660	9,460
その他	29,020	51,988	22,968
自主事業収入	6,780	23,854	17,074
支出	285,679	354,966	69,287
指定管理業務支出	279,571	331,781	52,210
自主事業支出	6,108	23,185	17,077
収入-支出	1,321	▲ 10,054	▲ 11,375
利益還元	672	0	▲ 672
法人税等	81	0	▲ 81
純利益	568	▲ 10,054	▲ 10,622

▽ 説明

▼ 収入について

・利用料金収入は、パークゴルフを除く、SLバス(前年度比112.4%)・馬車(前年度102.6比%)・引き馬(前年度比103.6%)、レンタサイクル(106.9%)が増収となった。

・自主事業収入は、昨年より人気だった初めての自転車教室の実施回数を増やし、前年度比271.5%となった。

▼ 支出について

・人件費や物件費で計画を上回り、指定管理業務で約5,200万円、自主事業で約1,700万円の増額となった。

▼ 令和6年度収支の現状と改善について

・令和6年度の収支状況については、収入よりも支出が多く約1,000万円の損失が出る状況となった。昨年に比べ来園者数は減ったが、収入は前年に比べ増えた。(指定管理業務104.5%、自主事業103.5%)

令和7年度については、職員数を適正な規模にし、人件費を抑制することに加え、物件費の削減に努めることで、黒字化を進めていく所存です。

なおコンソーシアム各4社それぞれの経営状況は堅調に推移しており、さとらんどを運営するにあたりまったく問題ありません。

・収入について

収入は計画に対し、増収となった。

収入全体では、計画比約5,800万円の増収となった。

指定管理業務収入全体では計画比約4,000万円の増収だった。

自主事業収入は、計画比約1,700万円の増収だった。

・支出について

支出は計画に対し、約6,900万円の超過となった。

人件費と物件費がかさみ、計画比約1,100万円の赤字、単年度の純利益は約1,000万円の赤字となった。

R5年度は約5,400万円の赤字となっており、R6年度は前年に比べ赤字額は小さくなった。要因としては、人件費約2,000万円、委託費約1,000万円、物件費約1,000万円の経費を削減できたこと。

A B C D

前年度から全体の収入が大幅に増収となり、事業計画を上回ったことについては評価できる。

しかし、前年度に引き続き事業計画から支出費用が大きく増えていることは、適切な収支管理ができていないと言えない状況である。支出内容について分析、改善を行い、適切な管理運営となるよう最大限努めること。

<確認項目> ※評価項目ではありません。			
▽ 安定経営能力の維持 当団体の財務状況等に問題は無く、安定経営能力を維持している。	安定経営を継続して行う。	適	不適
▽ 個人情報保護条例、情報公開条例、行政手続条例、オンブズマン条例及び暴力団の排除の推進に関する条例への対応 各条例の規定に則り、全て適切に対応した。	条例に則り、適切な管理運営を行った。	適	不適

Ⅲ 総合評価

【指定管理者の自己評価】	
総合評価	次年度以降の重点取組事項
令和6年度の来園者数は64万6千人で目標とする65万人を少し足りなかったが、ほぼ達成する結果となった。 令和6年度はゴールデンウィークは5月の5日間7万4千人(令和5年度は12万人)、7月は49,920人(令和5年度は78,870人)だった。 来園者71万人となった令和5年度と比較すると前半4ヶ月で4万人の差があり、年度終わりまで巻き返すことが出来なかった。(令和5年度は木製アスレチック遊具が新設され、来園者数は特に多かった。) 利用者アンケートによる満足度は、4項目全てで仕様書の目標値である80%を達成した。中でも総合満足度、職員の接遇に関する満足度、各種体験・講座等に関する満足度の3つは90%以上を記録し、満足度の高い運営を達成出来た。 広報活動として、情報提供や掲載件数は前年と比較し86件→120件に増え、テレビは23件→33件、雑誌は15件→25件と映像・活字メディアへの露出度が高く、来園者数のアップと認知度アップに繋がった。 以上を総合的に勘案し、良質で良好な管理運営を実施したと判断する。	令和7年度は目標とする来園者数67.5万人を達成するため、引き続き広報活動に重点を置いて、SNSを活用しさとらんどへのリピーター・子育て家族などターゲットを絞って行う。また、日本旅行業協会などと連携し、新たな団体利用の促進を図る。また、新規事業(恐竜パークなど)と既存事業での売上アップを進める。 コンソーシアムで掲げる利用者アンケート4項目全てで満足度90%以上を達成できるよう、内容を工夫して実施する。 指定管理初年度は事業への投資・資材購入などで費用がかさみ、2年目は赤字額を大幅に縮小した。3年目となる翌年度は財務の黒字化を目指して取り組む。 札幌市のさとらんど再整備計画の推進にあたり、積極的に関わっていく。

【所管局の評価】	
総合評価	改善指導・指示事項
指定管理者として2年目を迎え、来場者のニーズを独自に分析し、新たな取り組みを積極的に取り入れることによって市民サービスの向上に努めていた。 また、目標来園者数には到達しなかったものの、農業の振興およびさとらんどの魅力向上に寄与するよう、様々な企画や新しい取り組みを積極的に実施したことは高く評価できる。 一方、収支状況については、収入は前年度と比較し約5,800万円の増収となったものの、結果的には支出が多く、赤字決算となってしまっている。 令和7年度においては、前年度の事業実績を分析のうえ、収支バランスを考慮した管理運営が実現されるよう問題点改善に努め、引き続き積極的に企画等を実施していただきたい。	支出について、前年度に引き続き業務計画から大きく増加し、収支も赤字となっていることから、令和7年度は、令和6年度の問題点を分析し、適切な収支状況となるように改善すること。そのために、収支状況を都度確認し、実態に即した運営を行うこと。